

## グローバル化とクラウドサービスを積極展開

インテックの平成25年3月期の決算は売上高936億円、経常利益31億円、当期純利益19億円となり、当期純利益ベースで3期連続の増収増益となりました。

昨年3月にタイに「インテック システムズバンコク」を設立、同年6月には中国での3拠点目として「英特克信息技术（大連）有限公司」を設立するなど、グローバルビジネスの立ち上げに継続的に投資を行いました。

また、クラウド時代を見据え、サービス型ビジネス展開への基盤整備に注力しました。昨年6月には、首都圏・北陸・関西の3地域のデータセンターを結び、二重化した運用管理体制の下、一つの仮想クラウドサービスとして提供する「EINS WAVE」を開始するなど、積極的なサービス拡大を続けてまいりました。

インテックは来年1月11日、創立満50年を迎えます。平成26年3月期決算では、売上高1,000億円の達成を目指します。

なお、ITホールディングスの平成25年3月期の連結決算は、売上高3,378億円（対前年3.2%増）、営業利益181億円（同16.3%増）、経常利益174億円（同13.3%増）と、2期連続の増収増益を達成しました。当期純利益は、58億円（同174.9%増）となりました。

●クラウドサービスを支えるインテックのデータセンター



## 役員体制

6月19日付で、代表取締役最高経営責任者の中尾哲雄は最高顧問に就任しました。また、ITホールディングス副社長を務めていた佐藤知樹が専務取締役として戻り、執行役員今井喜義が取締役人事部長に就任しました。また、社外取締役として新たに吉田雅彦氏を迎え、常勤監査役には能口誠一が就任しました。

【新任役員】



取締役人事部長  
今井 喜義



社外取締役  
吉田 雅彦氏



常勤監査役  
能口 誠一

## 羽田空港に創立50年看板

創立50年に向け、羽田空港に掲出している看板のデザインを5月より変更しました。立山連峰とインテック本社ビル（タワー111）を背景に創立50年のシンボルマークを大きく表示しています。掲出場所は国内線第2旅客ターミナル（全日空側）到着階段です。羽田空港を利用される際には是非ご覧ください。

